



ユーザの追加

Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用すると、Cisco Unified Communications Manager データベースで新しいユーザのグループを追加し、ユーザを電話機や他の IP テレフォニーデバイスに関連付けることができます。



(注)

社内ディレクトリを使用しており、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) 同期が有効である (Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [システム] > [LDAP] > [LDAP システム] の順に選択) 場合は、BAT を使用してユーザを挿入 / 更新または削除することはできません。LDAP の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド 5.0』を参照してください。

この章では、ユーザの一括処理について説明します。

次のトピックでは、ユーザレコードを管理する方法について説明します。また、電話機とユーザ、または CTI ポートとユーザレコードなどの、Cisco Unified Communications Manager LDAP ディレクトリ内のユーザの組み合わせを一括管理する方法について説明します。

- [ユーザの追加 \(P.15-2\)](#)
- [ユーザレコードのエクスポート \(P.20-1\)](#)
- [ユーザレポートの生成 \(P.22-1\)](#)

ユーザの追加

複数のユーザを Cisco Unified Communications Manager LDAP ディレクトリに一括して追加する手順は、次のとおりです。

1. カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成して、追加するユーザごとに個々の値を定義します。
 - － 詳細については、P.15-3 の「BAT スプレッドシートを使用したユーザ用 CSV データ ファイルの作成」を参照してください。
 - － ユーザ用のテキストベース CSV データ ファイルの作成方法については、P.A-7 の「ユーザ用のテキストベース CSV ファイルの作成」を参照してください。
2. BAT を使用して、Cisco Unified Communications Manager ディレクトリにユーザを挿入します。詳細については、P.17-1 の「Cisco Unified Communications Manager へのユーザの挿入」を参照してください。



(注) 追加するユーザに Cisco IP SoftPhone などの CTI ポートを必要とするアプリケーションがある場合、BAT を使用して CTI ポートを既存のユーザに関連付けられます。

その他の項目

詳細については、P.15-7 の「関連項目」を参照してください。

BAT スプレッドシートを使用したユーザ用 CSV データ ファイルの作成

Cisco Unified Communications Manager ディレクトリに新しいユーザを追加するために詳細を BAT スプレッドシートに記述したあと、それを CSV データ ファイルに変換できます。

BAT スプレッドシートのインストール方法と使用方法については、P.1-9 の「[BAT スプレッドシートをデータ収集に使用する方法](#)」を参照してください。

新しいユーザを一括して追加するための CSV データ ファイルを作成する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** BAT スプレッドシートを開くには、**BAT.xlt** ファイルを検索し、それをダブルクリックします。
- ステップ 2** プロンプトが表示されたら、**[マクロを有効にする]** ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
- ステップ 3** ユーザを追加するには、スプレッドシートの下部にある **[Users]** タブをクリックします。
- ステップ 4** すべての必須フィールド、および該当するオプションフィールドに値を入力します。各カラムの見出しは、フィールドの長さ、およびそのフィールドが必須かオプションかを指定しています。

各行に、[表 15-1](#) で説明されている情報を指定します。ユーザが複数のデバイスを持つ場合、デバイス名フィールドは各デバイスに 1 つずつ設定します。

表 15-1 ユーザ追加用の BAT スプレッドシート内のフィールドの説明

フィールド	説明
First Name	電話機ユーザの名を 50 文字以内で入力します。このフィールドには、半角英数文字しか指定できません。
Middle Name	電話機ユーザのミドルネームを 50 文字以内で入力します。このフィールドには、半角英数文字しか指定できません。
Last Name	電話機ユーザの姓を 50 文字以内で入力します。このフィールドには、半角英数文字しか指定できません。
User ID	電話機ユーザのユーザ ID を 1 ~ 30 文字で入力します。このフィールドには、半角英数文字しか指定できません。
Password	Cisco IP Phone 設定ウィンドウへのアクセス時にユーザが使用するパスワードを、20 文字以内で入力します。 パスワードは、CSV データ ファイルに指定する必要があります。または、ユーザテンプレートを追加するときに BAT ユーザインターフェイスを使用して指定する必要があります。ユーザまたはユーザのグループごとに個別のパスワードを適用する場合は、CSV データ ファイルでパスワード情報を指定してください。すべてのユーザにデフォルトのパスワードを使用する場合は、BAT 内でユーザを挿入するときにデフォルトのパスワードを設定します。このフィールドには、半角英数文字しか指定できません。
Manager User ID	電話機ユーザのマネージャのユーザ ID を 30 文字以内で入力します。このフィールドには、半角英数文字しか指定できません。

表 15-1 ユーザ追加用の BAT スプレッドシート内のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Department	電話機ユーザの所属部門番号を 30 文字以内で入力します。このフィールドには、半角英数文字しか指定できません。
PIN	<p>エクステンション モビリティで使用される Personal Identification Number (PIN; 個人識別番号) を 20 桁以内の数値で入力します。</p> <p>PIN は、CSV データ ファイルに指定する必要があります。または、ユーザテンプレートを追加するときに BAT ユーザインターフェイスを使用して入力する必要があります。ユーザまたはユーザのグループごとに個別の PIN を適用する場合は、CSV データ ファイルで PIN を指定します。すべてのユーザが使用できるデフォルト PIN を使用するには、BAT にユーザを挿入するときにデフォルト PIN を指定します。このフィールドには、数字しか指定できません。</p>
Default Profile	このユーザとデバイス用のユーザ デバイス プロファイルを、50 文字以内で入力します。ユーザ デバイス プロファイルは、BAT に表示される Cisco Unified Communications Manager の管理ページ内の既存の UDP のリストから選択できます。
User Locale	このユーザに関連付ける言語と国 / 地域のセットを入力します。この選択内容によって、言語やフォントを含むロケール属性のどれをこのユーザに適用するか、および Cisco Unified Communications Manager のユーザ ウィンドウと電話機をどの言語で表示するかが決まります。
Controlled Device 1	<p>このユーザに関連付ける電話機またはデバイスの名前を 50 文字以内で入力します。</p> <p> (注) スプレッドシートの右端の [Number of Controlled Devices] フィールドをゼロより大きい数に設定すると、[Controlled Device] フィールドが表示されます。</p>
Telephone Number	電話機のプライマリ内線 (通常は、回線 1) の電話番号を 50 桁以内で入力します。
Primary Extension	このフィールドは、ユーザが追加され、ユーザのプライマリ電話番号が設定された後に表示されます。デバイスをユーザに割り当てる場合は、プライマリ回線を選択しません。ユーザは、電話機に複数の回線を接続できます。
Associated PC	このフィールドは、Cisco SoftPhone および Cisco Unified Communications Manager Attendant Console のユーザに必須のフィールドであり、ユーザが追加されると表示されます。
IPCC Extension	ドロップダウン リスト ボックスから、このエンドユーザの ICD 内線を選択します。
Mail ID	Release 5.0(2) の Cisco Unified Communications Manager の管理機能には、この説明があります。

表 15-1 ユーザ追加用の BAT スプレッドシート内のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Controlled Device 2	<p>このユーザに関連付ける追加の電話機の名前を 50 文字以内で入力します。</p> <p> (注) スプレッドシートの右端の [Number of Controlled Devices] フィールドをゼロより大きい数に設定すると、[Controlled Device] フィールドが表示されます。</p> <p> (注) まず、Controlled Device 1 フィールドに値を入力してから Controlled Device エントリを追加する必要があります。</p>
Presence Group	<p>電話番号、プレゼンス エンティティのステータスを監視するプレゼンス グループを入力します。</p> <p>プレゼンス機能については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。</p>
SUBSCRIBE Calling Search Space	<p>Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定したすべてのコーリング サーチ スペースが、[SUBSCRIBE コーリングサーチスペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] ドロップダウン リスト ボックスに表示されます。</p> <p>[SUBSCRIBE コーリングサーチスペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] は、エンドユーザからのプレゼンス登録要求を Cisco Unified Communications Manager がルーティングする方法を決定します。特にこの目的のためにコーリング サーチ スペースを設定するには、他のすべてのコーリングサーチ スペースと同様にコーリング サーチ スペースを設定します ([コールルーティング] > [コントロールのクラス] > [コーリングサーチスペース])。</p> <p>コーリングサーチ スペースの設定方法については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』を参照してください。</p>
Digest Credentials	<p>SIP 電話機にダイジェスト認証を設定すると、電話機が Cisco Unified Communications Manager に SIP 要求を送信するたびに、Cisco Unified Communications Manager が電話機の身元を確認します。このフィールドに入力されたダイジェスト信用証明書は、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウでダイジェスト ユーザを選択したときに、電話機に関連付けられます。</p> <p>このフィールドには、英数字の文字列を入力します。</p> <p>ダイジェスト認証の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。</p>
User Group	<p>ユーザが属するユーザ グループを入力します。</p> <p> (注) スプレッドシートの右端の [Number of User Groups] フィールドをゼロより大きい数に設定すると、[User Group] フィールドが表示されます。</p>

ステップ 5 新しいユーザに関連付ける追加のデバイス名を入力するには、[Add More Devices] ボタンをクリックします。



(注) CTI ポート、ATA ポート、および H.323 クライアントなど、すべてのデバイスをユーザに関連付けることができます。



(注) BAT を使用して、自動生成されたデバイス プロファイルを新しいユーザに関連付けるために、BAT 管理者は、xlt の [User Device Profile] カラムに ADP 名を入力することができます。

ステップ 6 [Export to BAT Format] をクリックして、BAT Excel スプレッドシートから CSV 形式のデータ ファイルにデータを転送します。

このファイルは C:\XLSDataFiles に保存されます。または、[Browse] を使用してファイルを別の既存フォルダに保存できます。ファイル名は次のとおりです。

<tablename>-<timestamp>.txt

ここで、<tablename> は、作成した入力ファイルのタイプ（たとえば、phones）を表し、<timestamp> は、ファイルが作成された正確な日時を表します。



(注) いずれかのフィールドにカンマを入力した場合、BAT.xlt を使用して BAT 形式にエクスポートするときに、そのフィールド エントリは二重引用符で囲まれます。

スプレッドシートにブランク行を入力すると、その空の行はファイルの終わりとして扱われます。ブランク行の後に入力されたデータは、BAT 形式には変換されません。

CSV データ ファイルを Cisco Unified Communications Manager データベース サーバの最初のノードにアップロードして、BAT がデータ ファイルにアクセスできるようにする必要があります。詳細については、第 2 章「ファイルのアップロードとダウンロード」を参照してください。



(注) エクスポートされた CSV データ ファイルを読み取る方法については、BAT 内の [ユーザの挿入 (Insert Users Configuration)] ウィンドウで、[View Sample File] へのリンクをクリックしてください。

その他の項目

詳細については、P.15-7 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [ユーザの追加 \(P.15-2\)](#)
- [ユーザ レコードのエクスポート \(P.20-1\)](#)
- [ユーザ レポートの生成 \(P.22-1\)](#)
- [BAT ログ ファイル \(P.64-4\)](#)

